

# 地方自治体における 水銀回収等に関する取組

新潟市の取組状況

# 1 新潟市の概要

○明治22年市制施行

○平成17年 13市町村と合併

○平成19年 政令指定都市<8区>

◆面積 726.10平方km

◆人口 811,641人(H22年10月推計)

◆世帯数 312,252 (同上)

## 2 ごみの分別

○平成20年6月 10種13分別に移行

※一部地域は8種11分別

### ◆ごみ(有料)

- ①燃やすごみ ②燃やさないごみ ③粗大ごみ

### ◆資源物(無料)

- ④プラスチック製容器包装 ⑤ペットボトル  
⑥飲食用・化粧品びん ⑦飲食用缶  
⑧有害・危険物 ⑨古紙類  
⑩枝葉・草

# 3 有害・危険物

## ○分別の内容

- ①乾電池
- ②蛍光灯
- ③水銀体温計
- ④スプレー缶
- ⑤ライター

※旧新潟市は、昭和60年から、乾電池、蛍光灯及び水銀体温計を分別収集

## 4 水銀含有物の回収状況 (平成21年度実績)

### (1) 収集運搬状況

(単位:トン)

|           | 乾電池          | 蛍光灯          | 計            |
|-----------|--------------|--------------|--------------|
| ◎家庭       | 147.0        | 99.0         | 246.0        |
| ◎店頭       | 42.0         | 0            | 42.0         |
| ◎公共施設     | 3.0          | 3.0          | 6.0          |
| <b>合計</b> | <b>192.0</b> | <b>102.0</b> | <b>294.0</b> |

## (2) 中間処理状況

(単位:トン)

### ○2清掃センターで処理

◎乾電池・ドラム缶詰め

◎蛍光灯・①破砕・ドラム缶詰め  
②専用コンテナ

### ○搬出量

◎乾電池 191.6

◎蛍光灯 96.5

---

合計 288.1

### (3) リサイクル状況

#### 【乾電池】

新潟市



コンテナ  
[トラック・貨物車]



北見市内の  
民間事業者

#### 【蛍光灯】

新潟市から2ルート

① 破砕・ドラム缶詰め物

② 専用コンテナ物

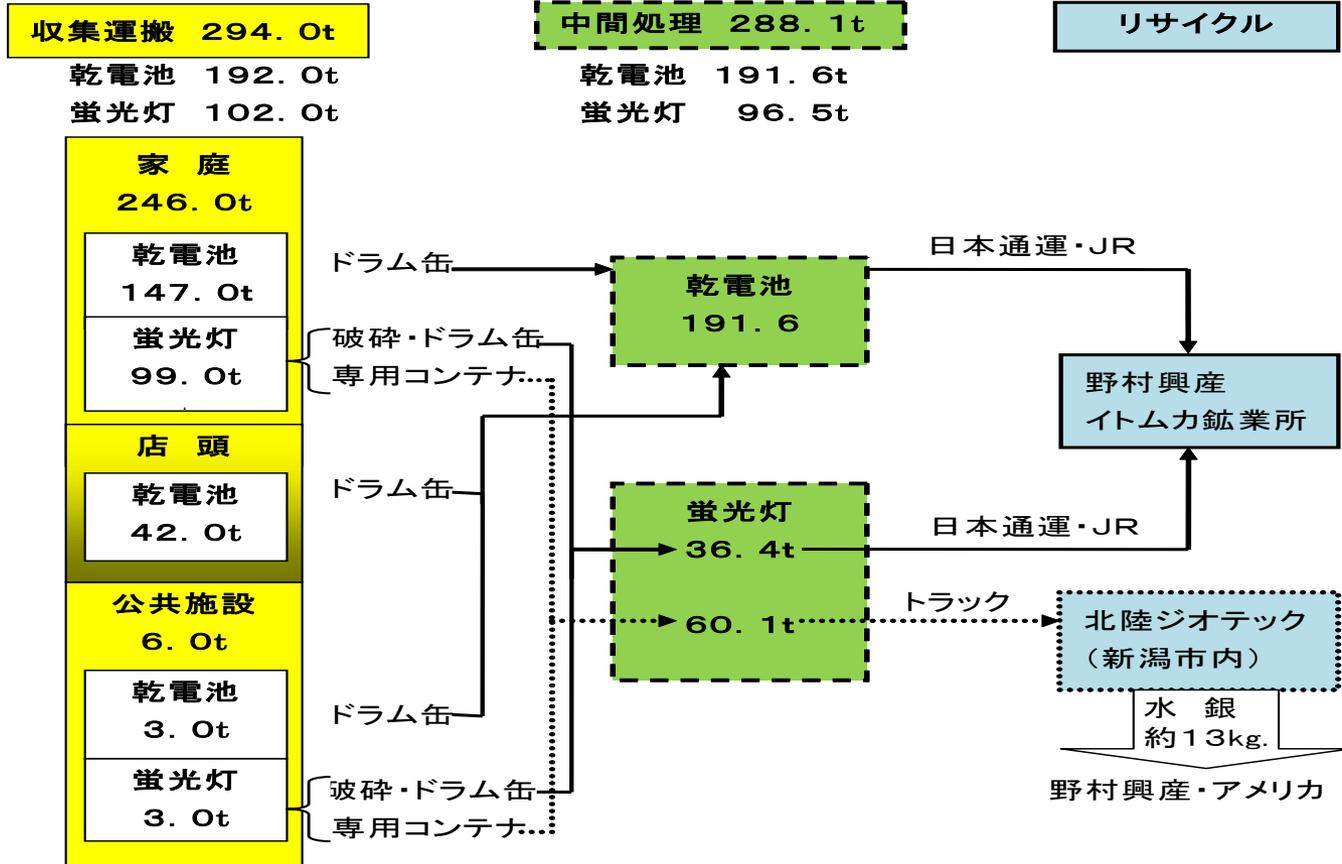


業者の  
専用コンテナ車

新潟市内の  
民間事業者

# 新潟市における〈乾電池・蛍光灯〉の回収状況(平成21年度)

※水銀体温計の数量は少量のため把握していない。



### 3 参考

《新潟市内の水銀保有状況》

○分析・研究機関 19ヶ所

《産業廃棄物業者の蛍光灯類処理状況》

○取扱産廃業者 10社 県外業者に処理委託

※市内の北陸ジオテックに処理委託傾向にある。

# 5 回収・処理の経費

## (1) 収集運搬経費

- ◆形態 ①直営・公共施設からの回収
- ②委託・家庭・店頭からの回収

■経費(経費算出可能地区のもの)

・家庭からの回収

(ライター・スプレー缶を含む)

・トン単価: 91, 408円

※家庭, 公共施設及び店頭などは, 混合収集又は直営収集のため算出不可

## (2) 中間処理経費

- ◆形態 ○市2施設(清掃センター)に集約し  
処理
- 経費 ○算出不可  
※施設の管理運営委託経費と一括  
契約のため。

### (3) リサイクル処理経費

◆形態 委託(運搬・処理)

■経費 トン単価

○乾電池 119,977円

○蛍光灯 128,056円

①北海道の委託経費 121,607円

②新潟市内の委託経費 131,961円

# 条約交渉に向けて望むこと

## 1 新潟水俣病の教訓

- ・健康被害
- ・環境破壊

## 2 世界に向けた情報発信

- ・「水俣条約」の重さ

## 3 国内に向けた情報発信

- ・国民・事業者・行政の責務(役割)  
(適正排出・適正処理・技術開発・啓発指導)